

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1
売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 森林整備課長 山内寛之 電話番号 0852-22-5173

事務事業の名称	林道事業	
目的	(1) 対象	県民（森林所有者 山村地域住民）
	(2) 意図	森林管理・森林整備の推進、林産物搬出・流通を図るための基盤施設、及び地域住民の生活道、災害時の迂回路として林道を整備する
事業概要	○県営広域基幹林道整備事業：奥地森林地域における森林整備の推進及び林産物流通の円滑化を図るために、骨格となる林道を整備する ○県営・市町村営林道開設事業：森林の経営管理に必要な森林内の路網を形成するために林道（林業専用道を含む）を整備する ○林道施設災害復旧事業：自然災害により被災した既設林道において、林道の機能を回復するために被災箇所を復旧する	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 林道開設延長（供用開始延長）	目標値		1,705.4	1,707.9	1,710.4	1,712.9	km
	式・定義 林道開設延長累計	取組目標値						
		実績値	1,702.9	1,704.4	1,706.7			
		達成率	-	99.9	99.9	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,389,678	2,719,247
うち一般財源 (千円)	161,243	187,006

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○森林計画樹立事業による地域森林計画に登載された林道路線を計画的に整備している。
 ○事業実施に当たっては、造林事業等による森林作業道等の細部路網と調整を行い、森林施業の効率化に寄与している。
 ○島根県の林道密度は、全国平均の5.1m/h aに対して3.5m/h aと整備水準は低位な状況にある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成28年度は、国庫補助事業により14路線の開設事業を中心に林道を整備した。
 開設延長 L=2,280m

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○林道の開設進度を上げる

②困っている状況が発生している「原因」

○奥地森林地域であるため、工事施工に多大な経費と時間を要する
 ○国の公共事業予算の減少

③原因を解消するための「課題」

○開設単価の軽減のためのコスト縮減
 ○事業費の確保

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○安価で丈夫な林業専用道の普及により開設速度を加速化する
 ○開設中の林道の計画見直しを行いコスト縮減に取り組む
 ○国への働きかけによる財源確保